立教大學圖書

立教大學新聞

發行所
豊島区池袋三丁目
立教大學新聞學會
振替口座東京七〇八五二
編集兼印刷發行人　遠藤義博

トンボ鉛筆
Tombow
TON
東京・株式会社トンボ鉛筆製作所

佐々木總長、航路出帆

歸國は來年一月の豫定

既報、佐々木総長は聖ルカ病院の橋本院長とともにさる五日午後六時多数の職員、学生に見送られ、プレシデント・クリーブランド号に乗船元気に横浜港を出帆した、総長は出帆の感想をつぎのごとく語つた

旅行の準備はできたかと人によく問われるが旅行の準備は学生の試験のように準備しようと思つてもなかなかできないがその日になると仕方なく行くようである、旅行も入学試験も人生もみな同じではないだろうか

佐々木総長は九月廿六日より十一月七日までサンフランシスコで開催される米國聖公会総会に列席し、シカゴ、ミシガン、コロンビヤ、エール、ハーバード、ジヨン・ホプキンス、南カリフオルニヤおよびハワイの各大学を訪れ來年一月上旬帰國の豫定である

（写眞は佐々木総長）

総長第一信

なお九月五日横浜を出港してアメリカに向つた佐々木総長から船中の第一信がこのほど到着した、上陸後のたよりも本紙に掲載の豫定

前略　五日出帆後夜半より新台風に見舞れ七日の夜半まで海は大荒れに荒れたがその後は静かな好い航海を続けております、目下アメリカにおける総会、招待先の演説内容を整理しています、あちらに行つてからの使命が現場に近ずくにつれますます重大なことを覚えております、学校もすでに始つていると思いますがどうぞ皆様しつかり御願いします（ハワイ十日発）

有名文化人を含む進歩的教授を馘首か

東大、一橋大に暗雲

全官公廳の首切りにつゞき文部省管下の教職員に対する大巾な首切りは大学より中小学校に至るまで計画されたもようで、そのリストは法務府において作製されその一部はすでに文部省から学校当局に発せられたと傳へられている

今回の首切りには単なる左翼系と もくされるもの だけでなく その対象が今までになく廣範囲にわたり学界における あらゆる進歩的教授やリベラリスト等も含まれているので、南原総長もことの意外さに驚ろき「内容は東條時代以上のものだ」ともらしたと傳へられている

また民科の傳へる所によるとこのリストの中には渡辺一夫、近藤康男、宇野弘蔵、出隆などの諸氏があげられ、東大四十名ないし四十八名、京大二十名、東京商大二十八名の中にはその他有名文化人多数があげられている可能性が論じられている

特に今回の首切りは山梨大学、富山大学、東京水産大学などで教授その他の職員が辞表の提出を強要されている事実や、東大においては民科会員の教授に脱会勧告が行はれているという事実からそのなりゆきは各方面から注目されているもようである

なお本紙記者が南原総長に会見した所右記した言明の事実を否定した

私立大學協會で思想問題等を調査か

私立大学協会では近日政治、思想問題、性、下宿、男女関係、授業料、将來の希望、交友、趣味等廣範囲にわたる学生々活実態調査を私立大学一〇九校の学生を対象に行なうとしている配布は九月中に終り十月中旬に集め、十二月の終りから一月の始めころに統計を発表するものらしい、この調査で思想問題がとり上げられているが、どのような意途なのかゞ注目されている

學院擴張建築委員決る

学院常務理事会に各校の理事も出席をし、その席上今後の学院の拡張計画による建築委員として学院側鈴木、齋木両理事、並びに大平監事、同窓会より岡野会長、大学側河西経済学部長、泰事務総長、高校より大沢事務長、小学校より有賀主事、他に嘱託として岩永氏がそれぞれ選ばれ拡張計画の任に当ることになつた、なお経済的な事情によつて従來別々に行はれていた学院と大学の事務が今学期から大学に合併され行はれることになつた

總長ら不在中の人事發表

総長ならびに菅文学部長の渡米不在中の事務代行者を次の如く発表した

総長留守中の重要事項は各部長会の協議を経て決定し、その他事務的なことは河西経済学部長が代行する、菅文学部長の不在中は各学科長の会議によつて進めてゆく

なおキリスト教科の科長は後藤教授が代理として行うことになつた

多彩な文化週間

十月中旬に開催

学園創立七十五周年に際してかねてより文化会では文化週間の催しについて協議を重ねていたが、このほど十月十八日ごろから約一週間本学において開催される運びとなつた、資金の都合上、川崎会長も頭を悩している、現在まで提出された各部のスケジユールは講演が十五その他討論会、座談会、展覧会、学生劇、音楽合唱、研究発表会、オルガンリサイタル、日英弁論大会最終日にはパーティ等の催し物がある

なを本年から新聞学会も参加應援することに決定した

文化会常任委員を増加

文化会では部の充実と発展のために新たに三名の常任委員を任命した

新常任委員木村博（英米文学）増田保太郎（音げん樂）櫻井芳朗（史学研究会）

旧常任委員松本一夫、大竹一郎、相沢二郎、手塚照二、藤井成爾、目島計一

これで新旧合せて九名となつた

論説

團體等規正令のつぎにくるもの

昭和二十一年二月勅令第一〇一号「政党、協会その他団體等の結成の禁止等に関する件」として公布されたものが二十四年四月吉田内閣による改正で新たに「団體等規正令」となり、団體等の政治活動を制限する法令となつた。

去る八日朝連等の数団體が同法の適用を受けたが、もち論暴力によつて自己の主張を実現せんとするものは断固排撃されなければならない。しかし警戒せねばならぬことは、政府による同令の適用が僅に暴力ぼく絶だけを目的として行われたかという問題である。われわれは次に來るものを知る必要がある。

七月來、法務府特別審査局では全学連を含む学生団體えの「団體等規定令」適用を検討していたが（本紙六十号）休暇中の八月十三日に全学連等の団體が同令に該当するものと解釈して都道府県知事に指令が発せられた。

そもそも全学連などが同令に該当するものとした理由は、その目的又は行爲が政府の政策に影響を與えるものである。というのであるが、こゝにわれわれは政府の政策に盲従を強制し、思うまゝに人民を引きづり廻した軍閥政治との相似を感じない訳にはゆかない。

基本的人権の保障された今日において学生の生活も労働者と同様に危殆にひんしている、定員法による人員整理から失業者は急激し、学生のアルバイトは今夏の如きはこれら失業者の奔流により完全にシヤツトアウトを食つた形である。

この現実から学生の救済厚生教育費獲得、大学自治の主張を公正なる判断で推進する時おのれに従えとする現政府の政策と正面きつて衝突するのも当然と思われる。

また政府の一方的な処置は最近の國家公務員法と共にとられた人事院規則である。これによれば官公吏と名のつくものは、吉田内閣を非難するともほめることも禁止される、ほめるものもいけないというのは一寸奇異な感じもするが、萠芽するファシズムは批判を抑圧して先ず独裁的な手段をとる、加えてこの規則に従うと官公立大学教授は実際的に、学問の如何を問わず現行内閣の政策について論及することが許されない。学者的良心による批判さえも聞かぬとする政策と学生運動を弾圧する政策は帰を一にしている。

団體等規正令及び國家公務員法により今後政府の政策が非民主的な強権政治に発展することを極力憂うるものである。反対政党、あるいは団體等が非合法的な地下運動に移行せざるを得ないようなわれわれの記憶に未だ新しい恐怖政治の再燃する要素を完全に葬り去りたい。

新應援歌發表會

灰田勝彦 ニュー・ソングを寄贈

本月十八日、應援団主催の新應援歌発表会が讀賣ホールで行われた、まず河原應援団長の挨拶に始まり新應援歌「榮の旅」「若き血」が発表された、それについて中川體育会長から要旨次の如き挨拶があつた

従來本学には應援歌が二曲あり、昨年先輩小藤氏作曲の「ゆけ立教健兒」が加えられ、今年はまた創立七五週年記念として新たに二曲がOBクラブによつて選定された、この二曲とも先輩清水みのる、武藤重勝両氏の作詞によるものである

なお灰田勝彦氏がこの発表会に際してジヤズ形式の應援歌「勝ちて歌はん」を寄贈して來たがこれは兄晴彦氏作曲による今までの應援歌にはない新らしいリズムを持つたものであり、勝彦氏の歌詞指導でひろうされた、これに対し同氏は

今までアメリカの学生が樂しそうに歌える歌を持つていることをうらやましく思つていたのでこの機会に今までの應援歌の形式に新たな分野を拓いてみた、母校の学生がこの歌で良い意味の派手さを身につけ、現在のと角無軌道な生活から一日も早く立上つてもらいたい

と語つた、竹山逸郎、平野愛子アキレタボーイズらの來演があり、同じく來合せた佐野周二氏の挨拶に会は盛大に行われた

（写眞は應援歌発表会）

マイクを御利用下さい

文化会では本年六月にマイクを購入したが、各部、各団體で必要な時にはこれを使用されたいと望んでいる

イールズ聲明具體化か

學内政治活動禁止指令

文部省で考究中

去る七月十九日、CIE教育顧問イールズ氏は新潟國立大学開校式に臨み「大学において共産主義者である教授は学園より追放さるべきであり、学生ストは許されない」との講演を行つたが、その後八月四日大学法対策全國協議会では同氏を訪問し「これは個人的問題提起で、何ら強制的なものではない」との解答を得た、しかし文部省ではこのイールズ声明の線にそつて目下学内の政治活動禁止措置を考究中であり、結論を得次第直接学校に指令を発するもようである

また私学に対しても強いかん告をするはずで、現在同志社、慶應などにこの問題が起きているが、私学の学校当局の動きが注目される

学生は学校当局に訴えよ　一問一答

イールズ声明の反響が著るしいのでこれについて、東大学生新聞記者は、氏と一問一答を行つた　その概要は左の如し

問、米國の教育政策委員会の構成ならびに最近それが提出したマルキスト教授・学生・その他インテリ層の反響如何

答、一五ないし一八名の著名な教育家達を以て構成されており、資本家、官僚は一人も含まれていない、彼らを任命するのは國家ではなく廿五箇の教育家よりなる私立団體が任命する、また問題の勧告文は二月前、NBAの総会にかけられ、二九九対五一五で可決された、これから推して大體の反響の模様は察することができよう、なお学生の反響は情報がないから判らぬ

問　思想的な拘束を受けているが故にマルキスト教授は、教授の資格がないというがクリスチヤン、特にカトリック教徒が教授である場合はどうか

答　カトリック教徒の先生達は本部その他から國家に対して明確な態度をとれという指令を受けておらぬと思う、しかしマルキストは本部よりデモクラシーを信じてはいかぬ、暴力を以つて政府をてんぷくせよという指令を受けている

問　〃共産主義を教壇で教えることはいけない〃とこの間の演説で述べたと一般新聞は傳えているが学生側から見れば学ぶ自由への矛盾ではないか

答　それは例えば数学の教授が自分の専門以外の共産主義を教授してはいけないという意味で社会科学の教授が、共産主義について講義するのは差支えない

問　学生ストについて

答　学生は大衆に訴えるよりもより強く学校当局に訴えねばならぬ、今の君の述べた理由は、疑問の餘地があるが、それも含んで、現在是正されねばならぬ学生の色々な問題や学生への不当な圧迫が事実あるという事は常に私の念頭を離れぬ事だし学生達が彼等の苦情を共に学び、共に解決して行くべき教師達に訴える事の出來る様な機構が必しも至る所には完備されてないという事もよく知つている、ある大学の総長、学部長、教授達は実際、常に学生達の希望や要求にたいして、非同情的であつた、彼等は独り象牙の塔にこもりがちだつたり、または独裁者であつたのだ（東大学生新聞提供）

眞實の報道を

全日本學生新聞連盟結成

激化するファッショ攻勢の最後の防衛線といわれる各大学新聞は東京大学新聞連盟、関西学生新聞連盟の音頭によりは豫てから強固なる全國的組織統一體の必要が痛感され去る二〇、二一の両日、中大、明大において結成準備会第一回総会が本学始め関東、関西、東海、九州、東北、北海道各大学高専新制高校八十二校（委任状）を含むの多数参加の上開催されたが、新聞の自由擁護の爲終始熱心に審議討論され民主的諸團體との連携が強調されたが全学連、日本ジヤーナリスト連盟機関紙協会等それぞれメツセージ、挨拶等が送られ学生新聞の使命を宣言盛会りに結成された

新聲

休講をなくせ

いよいよ新学期がはじまつていまだに休講の多いとが慣例になつているのに驚いた。われわれ旧制学部においては最初の一週間はほとんど授業なしで過してしまつた。デイスインフレ下の家庭では高等教育を受けることは並大抵でなく休暇を利用してのアルバイトも思うものがなく、わずかばかり得た金も授業料にあてるという現状であり、日常生活はわれわれの理性を麻ひせしめ学生の危機をもたらす因子となつている。知性を求め思索に悩んでいる学生にとつて学校はよきオアシスとなつていない現実を認識せられ、休講の絶無、教授の補てん強化を早急に善処せられ、一日も早く迷える小羊を救われんことを当局に望んでやまない（経旧二K・Y）

愛校者をめぐつて M・F君に答える

六一号のM・F君の駁に対して「ナンセンス」という言葉を聯呼する以外に何んの言葉をも用意していないのであるが、君がどのようなグループに屬しているか知らない。然し純眞で眞面目な人であると善意に解釈し早速ながら筆を取ることにした要するに君は何んにも知らぬことを新聞紙上に自から表明したに過ぎない。何んにも知らぬ者の態度としては君の意見反バクの意見は当然と思われるがぼくの前の意見は君のような善良の学生に訴へる爲に書いたのではなく、キリスト教の正義と愛という看板の陰にかくれて権力の爭奪をしたり、立身出世のためには学者的良心も学園的良心もチリ紙の如く捨て去る無節操の一部小数の教授、学生にゴーゴリーの検察官、漱石の坊ちやんでも讀んで反省を求めた外に何にものをも意味してないのだ。

それ故に具體的な例を上げたりして一部少数人々の非行をあばき落し入れようとするものではなくあくまで反省を求めているのだと重言し、ぼくこそ立教大学を眞に愛する者であると聲を限りに絶叫したい。

最後に「眞の友人」と関連させて眞に立教を愛する者はだれであるかということにたいしてわかりきつたことであるが一言しよう。

仮りに「絶対にこんなことはあるまいが」君が彼女を造り（彼女を造ることは差支えない）学校も両親も友人も忘れて得意の絶頂にいるとする。君の友人Aは君が他人の脱線した恋愛を面白おかしくはやしたりおだてたりするであろう。また君の友人Bは君の感情を害することも恐れずに君の行爲の誤りを指摘して忠告するであろう。その時にいずれの友人を眞の友人と思うか。あまりにも明白である。それと同様に感情を害し、烈火のごとくおこられるかも知れぬが一部少数の教授学生の誤つた行爲にたいして批判する。いや眞の友人、愛校者として批判せずにはいられない（S）

クラス對抗に重點

創立七十五週年運動會

體育会においてはこのほど恒例の體育祭・運動会のスケジユールを内定した、今年は七十五周年運動会として十一月上旬ナイルキニツク・スタジアムか芝公園のアメリカン・フットボール場で體育会が実行機関となり、大学、高等、中学、小学、聖ルカ女専、立教女学各校の參加を得、クラス委員会文化会の應援の下に盛大に催されることになつたのであるが、従來ともすると體育会のみの運動会になる弊がみられたので體育会では去年の運動会直後批判会を行い、あくまでも立教全学生の運動会であることを再確認し、本年は一般学生の參加しうる種目を選びクラス対抗に重点を置くこととなつたそこで體育会、文化会、クラスは各々別に部対抗競技を行い、優勝はいを新たに二個作製して各最高点部へそれぞれ授與する、なお體育会では競技種目を一般学生より募集する

体育部スケジユール

各體育部の十月初旬までのスケジユールは次の通り

9・30　ボクシング関東選手権
　関東学生馬術トーナメント
10・1　明立一回戦、バスケツト明立、ボクシング
2　明立二回戦、バスケツト明立
　立早フツトボール
4　関東学生馬術トーナメント
7　関東学生馬術トーナメント
8　慶立一回戦、ボクシング
9　慶立二回戦、東立サツカー

六大学野球リーグ開幕

リーグ随一の豪球五井投手の好調と大沢投手の完成は本シーズンに期待できよう、春季リーグチーム打率最高率を得ながら惜しくも三位に止まつたわが校は大沢投手のコントロールとテクニックの進歩、加えて遊撃石原の守備の確実、従來わが校の弱点とされた捕手井上の向上、野手俊足の加藤、篠原、守備範囲の進歩に守備力も充実しよう、しかし守備より打撃への期待が大きい、第一戰対法政との試合は五井、大沢の好投良好なコンビネーションで善戦したが、まだ本調子でない打線特に中堅打者の元氣が乏しく、内野の失策に敗れたのは惜しい、しかしこれは試合の進むにつれてチーム打線の爆発は必至であり、守備も漸次落着きを取もどすことになれば捨身の活闘で優勝圏内の突入も決して望みなきに非ず

国家公務員試験

人事院事務総局では七日付で本年一月に行われた第一次國家公務員試験に鋭意検討を加え修正を行い、新様式による國家公務員（五級職・六級職）試験が來る十一月五日から東京その他全國十四カ所で行われる

藝術部發足

かねてより学生藝術愛好者によつて藝術部設置の機運が高まつていたが本月二十二日多数の学内教授、先輩の協力を得て会長に辻教授、キヤプテンに坂田義司君（旧二）をおしてこの程発足、絵画や音楽のかんしようを行い、併せて音樂、造型藝術の藝術的研究をし、斯界のけいもうならび進展に寄與するのを目的としている

圖書館だより

今夏米國在住の校友ならびに先輩より洋書約五〇〇冊の寄贈を受けた、なお寄贈主はワシントンのチヤーペリ・オデカル・クラブ、エドリツク・ウエルド氏シカゴの北川三夫氏らでなお寄贈図書の主なものは「The National Geographic Magazine」その他である

なお図書館では夏季休暇中、長期貸出を受けた学生は館の整理上困惑しているから至急に返却されることを望んでいる

卒業期は未定

—旧制二年—

新制大学発足に伴い、旧制二年及び新制三年は二十六年三月に同時に卒業ということになるが、現下の就職難の折から学生の重大問題になつている、これについて河西経済学部長に聞いた所、一校だけで決定し得ない問題であり、來年三月までには確定するだろうと語り、若し來年九月になれば三学年の授業はアウトラインだけは行うつもりだと述べた

波紋

◆去る十九日当新聞学会のA君が山手線の中でカバンを盗まれた。自分の上の網ダナに置いたのだが盗まれたのに氣がつかなかつたという、彼の油断が悪いのか、それとも社会が悪いのか、こんな問題でも眞面目に考へねばならない所に敗戰日本の悲劇がある

◆近ごろは大事件が相次いで起るので社会的なものでも中小事件は警察当局では無視しているそうなると各個人の盗難などは数が剰した程にも感じないのは当り前の話

◆当り前の話というのは当然であるとわれわれが默認した事になる。これは非常に危險な状態を作り上る、犯罪が行われない明るい社会を作るべき責任ある政府が、警察力を増強して人民を圧迫する、有難迷惑にも警官網で引揚者を迎へる、これも当然だと言う

◆進歩的教授が学校を追われて行く。常に学問は自由なりと言つている保守教授のかゝる行動も当然とされる、有能な教授に去られた学校と学生は貧困な知識を抱きかゝへ困じ果てる。これだけは当然だ。早く警官のいない明るい國と睨まつた当然論の追放とを実現してもらいたいものだ。その時こそ何処に鞄を置いても盗まれないやうになるだろう

立高、校歌きまる

今春発足した立教高等学校では豫ねてから校風をシンボライズする新校歌を、学校関係者の中から募集中であつたが、このほど武藤重勝氏の補佐になる校歌の制定をみ、去る二十二日その発表会を行つた

富士カラーフイルム
富士寫眞フイルム株式會社

明るい家庭に
明治の保険
明治生命
東京・丸ノ内

月刊ドイツ語　臨時定價50円〒3円
月増大号　主要目次
文法・Einfach wie esist
テキスト・Ein Berliner Alltag
文法・複合名詞の結合法
テキスト・Hallo
ことわざの頁
事項別単語集
欧米思想縦横記（5）
簡易ラテン語講座（6）
今月よりの直接購讀者には特典あり
直接購讀料　6カ月 200円　1カ年 400円　送料・臨時増大号を含む
日光書院
東京都神田一ツ橋二ノ三　振替東京八三七三六

トルストーイ・原久一郎譯
生きる道　全二巻
人はいかに生くべきかをあらゆる角度から古賢の名言を集めて詳述したト翁晩年の名作
B6各二九〇頁　定價各一六〇円　〒各20円
ルソオ・大井征譯
孤獨な散歩者の夢想
（附）マルゼルブ長官への書簡
全一巻　B6二一〇頁　一二〇円　〒20円
東京都神田局　神保町二丁目　三笠書房

宮川実著　資本論研究
共産主義とは何か　第七号【今日の問題】定價五五円・〒八
ブルジョア的・小ブルジョア的價値理論の批判　—つゞき—
河上肇著
經濟學大綱
第一分冊・九月下旬刊・以後毎月一分冊宛刊行
各冊・四分冊　定價一五〇円・〒二〇円豫約に限り本書の送料は小社負擔・振替東京三六五八二
青木書店　東京神田神保町1の60

實業之日本社
【決定版】
朝日新聞論説委員　土屋清編
日本經濟の基礎知識（B6判上製六八八頁　定價五〇〇円〒30円）
學界、經濟界の權威七十氏執筆により全八十項目に及ぶ日本經濟のエンサイクロペジヤ、經濟學徒、實務家
ジャーナリスト、教育家、官公吏、学校、会社、必読必備書
▼内容の一部▲★日本經濟の基本性格・土屋清★世界經済における日本・小室恒夫★資本の集中と独占・高宮晋★財閥・土屋喬雄★対日經済政策・団野信夫、労働法等々
東京中央銀座西一・振替東京326

増補
絶對主義論
服部之総
B6 300頁　定價180円
天皇制絶対主義の成立・発展・崩壊を科学的な方法と立體的な筆致を以て明確な世界史的視野より究明し近世史に貴重なる問題を提起した画期的論著。こゝに新に一論文を加え補訂版として諸君に送る。
—日本戰歿学生の手記—
きけわだつみのこえ
日本戰歿学生手記編集委員会
序文　渡辺一夫　解説　小田切秀雄
「はるかなる山河に」の全國版！きけ戰に倒れた若人の叫びを！
東大協同組合出版部
東京都文京区本富士町東大内

河出書房版
（最高の編集・最低の定價）
世界文學全集　定價　並製各二百円　特製各三百円…送料廿円
全國書店発賣中、書店で品切の節は直接本社へ！
第二回發賣　モーパッサン集　杉捷夫訳　女の一生、雨、乞食、狂人！女、ジュール叔父、
第二回増刷　ゲーテ集　高橋健二訳　若きウエルテルの悩み、ヘルマンとドロテーア、ファウスト、[illegible]
第三回近刊　バルザック集　水野亮訳　絶対の探究、知れざる傑作、砂漠の情熱、ツールの司祭
東京都千代田区神田小川町3の8（振替東京10802番）

マルクシズムに對決するもの
—批判と反批判—重版—
発売中
[illegible]
B6判　二八〇頁　價一五〇円　〒二〇円
経博学士　沖中恒幸著
デフレーション
價130円　〒20円
東京都港区芝公園中央労働会館
労働文化社

東大唯物論研究会　学生書房編集部編
生き殘つた青年達の記録　B6二三〇頁　定價二二〇円
戰争と敗戰、その混迷の中から若き世代はいかに生きぬこうと努力しているか、又いかに戰争を考え、いかにこの社会に対して立とうとしているか。全國からよせられた若き魂の切々たる告白を、世代を問わず職業を問わずあらゆる戰争を通過した人々はよまねばならない。
野間宏氏序文、発行人本田喜代治、高桑純夫、野口肇、櫻井恒次氏座談会
発売中（送料当方持書留八廿円）
旧制新制　大學入學案内　類書を圧する決定版　B6 350頁　定價180円
東大教授　大塚久雄著
近代資本主義の起點　定價一五〇円　近刊
大塚史学の名を経済学界に投じた教授の入門書。近代化の起点に加筆訂正し更に巻末に経済史用語の解説を附す。大塚史学批判にたいして是非よまるべき名著であり、好適の経済史入門書である。
東京都文京区本郷六ノ二五　振替口座東京三九七〇七番
學生書房

増田惟茂著　城戸幡太郎編
心理學概論　價三三〇　〒三〇
現代心理学に対する著者の深い洞察力と鋭い批判力とによつて書かれ、廣く心理学教科書としての價値が認められ、特に心理学的実習の手引書として役立つ書である。
小山書店
小山文庫　新刊・重版
三木清著　讀書と人生　價一六〇
倉田百三著　愛と認識との出發　價一九〇
出隆著　哲學以前　價一九〇
大岡昇平編　恋愛論ノート　價一四〇
東京都千代田区富士見町2丁目12　振替東京39872番

魔術からの解放
組合は權利を守れ
成能通孝

法律学を学ぶ人達だけでなく一般に市民の氣持は、筋の通つたことをすることである、ところが最近の事件には、どう考えても筋の通らなさそうなことが多いのに驚かされる。

たとえば定員法の適用について考えてみると、定員法には付則を設けこの法律による整理については、人事院に対する提訴も、団體交渉も全くできないことにきめている、このような規定をおくことについて、筋の通つた話だと考えている人は、ほとんどなさそうに思われる、なぜならば憲法では団體交渉の權利を保障しているし、その上に労働者にとつて何よりも大事なのは自己の職業を濫りに失わないことであつて、それくらいの話ならどの人もわかつているからである

定員法がいよいよ実施された際、組合の役員達はかたつぱしから免職された。免職理由は必ずしもはつきりしたものばかりと限つておらないが、通常勤労成績不良のため、首になることになつていたようである。政府側の主張によると、これらの首をきられた人々は、組合の仕事にかまけて役所の仕事をしていないということにあるらしい、しかし実際の慣例上、政府は今までゞも特定数の人々が組合の專従的職員として、その方に働くことを認めていた。ところが今では急に態度をひるがえし、お前は組合の仕事ばかりしておつて、こちらの仕事をなまけたから首にするといつているのである。これではまるでペテンであり、どこからみても筋の立つ話だということはできない。

組合役員で免職された人々の間には、政府に対して協力的でなかつたと非難されている人もある、だが組合が政府に雇われた労働者であつて、なるべく賃金を高くしてもらつたり、首切りをさけたりしようと思つているかぎり、組合の役員が非協力的になることは自然である。組合の役員の立場からみれば賃金を安くくぎづけしておくこと、首切りに協力してなるべく多数の被害者を出すために働くことはできない。彼らがだからして行政整理を看板にして選挙にうつて出た民自党あたりに反対したり吉田内閣打倒を呼んでも、それは組合から與えられた彼らの役御上、むしろ当然のことかしれない。

組合役員の行動によつて、その職を奪い得るものは組合員だけである。組合の反対側の立場にいるものが、お前は組合の利益を裏切つたとか、過激派すぎるとかいつて、処分できる、慣例が確立したら、組合は全く産業報國会組織と同じであるその位のことならば、一層のこと巣鴨監獄から戦犯の解放を嘆願し彼らに命じて労働者の組織を作らせる方がよかろう。彼らは労働者の爲の労働組織を作ることはうまかつた。彼らに任せれば「日本帝國」の再建は、今よりもつとうまくゆく。

しかし、再建されるのはあくまでも日本帝國なのである。民衆の生活上の幸福ではない。彼らはその点で政府に対して「協力的」になりはするけれども、協力されて困るのはあくまでも人民共だけである。けれどもこれらの矛盾にくらべても、もつと不可能な筋の通らなさは、組合の内部の矛盾である。ぼくは組合の内部事情については知らないので、國鐵の民同や全逓の再同を、何らそれ自身非難する氣持はもつていない。労働運動も進む時ばかりでなく、退く時もあろうから、防御する可きときに無謀な攻撃をする代りに最小限度の讓歩をして、全滅的なほう壊をきたさないことが、戦術をとる人でも、原則を放棄してはどうにもならない。原則を放棄して了つたら、この池でどんな有利な條件を獲得しても、それはむしろ降服條件を承認しているようなものである。一切の武器を奪われ、抵抗力を喪失することを條件に、何んな有利な俘虜待遇を約束しても、相手方に約束を守る意志がなかつたら、それまでのことではないが降伏し、無抵抗を誓つた以上、相手方の信義いかんを論じてもことはもう遅すぎる。ヒットラーだつて　法、に反対した社会民主党の代表に「お氣の毒ながら君らは少しおそすぎた」といつたではないか。

國鐵や全逓の民同及び再同が反対派が組合役員の整理を拍手してむかえ彼らが職員たる資格を失つたことを口実に組合役員の資格までなくなつたといつていることは、何うなつても不可能なことである。

そのような先例が確立せられゝいずれはは、やがて今よろこんでいる人々も「下郎ははにがさないもの」として、ばつさりやられるときがくるのではあるまいか。そういつたような運命は、かぶきの一幕でもみた人には、どんなようにしてもわかつている。自己の生命を、自己の反対者に託した人がどんな目にあわねばならないかは、常識上全くわかつたことである。近代的な市民の毎日の生活は他人の情や思情によつてではなしに、理性と常識とによつて規律されているだけでなく、規律されねばならない。奇跡を求める人々は、筋の通らぬことを平氣でするが、しかし筋の通らぬことをした後には、ろくなことがなかつた。法律学を学びつつある諸君に対してだけでなく、すべての学生諸君に対し常識は自己の身についたものの一部として期待されねばならない。「みいず」頭公から解放されるのでなかつたら、われわれはどうして生きることができるだろうか。「魔術からの解放」は、そう遠いところだけのことではない。（早稻田大学教授）

立教生の特異性について
メリット師

立教の学生が他の大学生と違つているかと聞かれた場合私は落たんずる。他の大学生となんら違つていないからである。だが立教にはなんらかの特質がなければならないはずである。それは何か。私はそれが眞実であり得るならば指てきしたい。

人が何になりたい。と努力しているということは、その時の実状から押しはかることが大切である。私が立教生にたいして興味をもつている点は環境と学校の特異的な存在から特定の事項にたいするするどい探究の眼をもつていることである。立教はいわゆるクリスチヤンの学校である。それ故にその中にある学生がクリスチヤンであつてもなくても、一應はクリスチヤニテイーということについてはなんらかの疑いをもつていると思う。これは立教生の特質と思われる一つの点であろう。

しかし單なる学問的な疑問や、一見して起つた好奇心はよくない。すなわち形式的な探究は不眞面目といゝたい。わずかな好奇心、または生半かな見識をもつてクリスチヤニテイーに対することは眞面目なこととはいえない。

そのことがらを深くしらべ眞理を理解する限りにおいて生活の糧になるのである。そして必要なのは、それを體めるまでの関心なのである。立教生の特質に右の点がどの位浸込まれているかを私の限られた認識をもつていうならば学生中にはこれに対して関心をもつているものは少ないであろうそれに関して、明日急に日本の狀勢が変るならばすなわち共産主義が支配権を握り、立教においても共産主義哲学がはゞをきかす時、クリスチヤニテイーを守る者はどの位あるかと疑いをもつ。

今一つの特質はデモクラシーに対する考えをもつている事である。それはこの大学における種々の学生運動を通じて、学生同志がよりよい生活をするための発言権を持つていると認められる。どんな考えであつても、人心の興味を失うならばその事の不徹底から悲劇が起るのである。事の徹底をはかるには、全ての者の新しい協力を必要とする、以上の二つの事に対する関心が立教生の特質ではなかろうか。けれども私は今一度事の眞実性を確かめた。

すなわちゆがめられた共産主義の圧迫にあつた時、デモクラシーを守る者がどの位あるかについてだが、先きのクリスチヤニテイーにくらべてデモクラシイーを守る者の多い事はもち論の事と思う。なぜならすクリスチヤニテイーよりデモクラシーの方がわれわれの生活に適合していると思われるからである。現在立教生はデモクラシー的習慣を教えられた浅さと深さを測る事はできないが、私は善意に解釈したい。なぜならば、それが人間が人間を測定する時の常識である。と思はれるからである。（本学教授）

東京さまざま
豊島區の巻（1）
遍歴する町の文化
秋田雨雀

アプレゲールの豊島区の文化—そんな觀題が私にむけられるとは思はなかつた。また私はそんなことに答え得る素養あるものとは思はない。しかし私は戦時を開の五年間を除いても、約四十年近くの間に豊島区に住んでいる。私は明治三十九年に、ロシヤの人々が捕虜として目白駅を通過して行つたのを今でもはつきりと思い出す。大勢の男女がその人たちを見ようとして目白駅へおしかけていつた。ひげむじやなロシヤ人たちは列車の窓から顔を出して笑つたり、中にはしたを出してふざける者もあつた。見物人は「あれだからロシヤ人は戦争に負けるんだ」といつた。しかし、実際としては民衆はロシヤ人を憎む氣持はだれも持つていなかつたようだ。私は今でもロシヤ人の上むきにとがつた鼻と青いひとみの色をはつきり思い出すことが出きる。

私はそのころ雑司谷の鬼子母神近くに住んでいて、そこから早稲田の英文科に通つていた。そこではラフカデオ・ハーン（小泉八雲）が私たちに英文学を講義していたが、私たちは英文の筆記がとれないので大変弱つた、同級生でハーンさんの筆記をほんとに取れたのは片上伸君一人だつた。島村抱月さんはドイツ帰りの若い美学者で柔軟性があり、新鮮味のある美学の講義をしておられた。

日露戦争後ロシア文学が急激に日本に紹介された。私たちは二葉亭四迷の訳したゴリキーの「二狂人」ゴーゴリの「狂人日記」アンドレーフの「血笑記」等を愛読した。そのころ巣鴨の刑務所の横は一帶の原つぱで、背丈ほどの雑草が生えていたが私はその草原の中で英訳になつた「罪と罰」を耽読したのをおぼえている「赤い笑」は反戦の思想を神秘的な手法が描いたものであつた

私は昭和二年にソ連見学の旅に出発したのも雑司谷からであつた。創作方法論や反戦思想などで度々検挙されたり家宅捜索をされたのもこゝであつた。私はそのころ立教大学の辺をよく歩いたことがある。どういう用事があつたのか私は有島武郎君に誘われて立教大学の構内を歩いたことがある。そこには何ういう関係か熊田という隠れた哲学者がいたがその人は後で人生観の行きずまりから自殺した。敗戦後の立教大学の校舎——校庭は全くのオアシスである——あるいは豊島区たつた一つのオアシスである——そしてこれは無謀な戦争の生んだ一つの現実である。今舞台藝術学院で安静生活を送つている私には、このカレッジの周囲や校庭を散歩するのはたつた一つの楽しみである私は豊島区の中心地帶、池袋の復興を喜ぶ点では人後に落ちないつもりである——しかし、これがほんとうに復興であり、繁榮であろうか？このあたりは戦争前は、表通りを除いては学校や住宅やお寺のある靜かな落ちついた町だつた。しかし、今は全く雑音と騒音のうづの中にいるような氣がする。飲酒——うた聲——けんかの絶え間ない街——これが池袋の現在の姿である。

さて、戦後の豊島区の文化は何処から来るだろうか——そしてまた、私たちは豊島区特有の文化というものを考え得るものだろうか？ 豊島区の文化はわが國の現在おかれている現実から離れてあり得ないはずだ。私は豊島区在住の新日本文学会々員や職場サークルのエスペラント運動や二、三の新劇運動などを知つている。豊島区戦後の文化は進歩的な知識人、技術家、職場サークルの人々や一般市民の自覚した要素の結合組織化のほかにあり得ないと思う。それは勿論、今私の窓から浸入して来る雑音や騒音の中にあるのではなく、もつと深い地の底に健康な根を張つているところから来るだろうと思う。

一九四九、九、一八（詩人）

二科展に美術界をのぞく
展覽會は繪畫をみせる所？
杉本鷹一

美術の秋と称して毎年九月一日から二科、院展を皮切りに次々と展覧会がひらかれる。多くの人が観にゆき、新聞雑誌に批評が書かれる、そして画を描くものは、どれかの展覧会に出していなくては一人前でないように思はれる。この習慣が毎年くりかへされている。

だが、私のいゝたい結論は、憎くまれ口をきくやうだが「展覧会は絵画を観る所？」ということである。

この結論には「？」がついている。で、こゝから論じなければならぬことがある。

絵画を制作するということは画家があるモチイフをえ、それを作品にするために精魂を打ちこみ、永い時日の末、一應の完成か、成果を獲たものを発表する所、これが展覧会である。（企画として、過去の作品を集めて観せる展覧会もあるが）それが、展覧会の本質であり、意義でもあり、それでこそ展覧会は絵画をみる所といゝ得るのである。

それでは毎年春秋に上野で展かれる展覧会の画はそうでないのか、と反問をうけることであろうが、残念ながら小数の画を例外として、ほとんどの画は先にいつた過程の逆であつて、展覧会のために描かれる「展覧会製作」という言葉もある。それであつてもいい作品が描ければいいではないか、という反駁もあるだろうが「展覧会製作」では、まず傑れた絵画は出来ないとい得る。その最もハッキリした実例は、九月一日から展かれた二科展である（実をいうとこの稿の目的は、二科展評であつたのだが、今年の二科展はあまりにも絵画を観る所でなさすぎるのでこういう書き方になつてしまつた）

といつても、今ごろ何を古ぼけたことをいつているかと嘲う人もあろう。または、絵画でないといへば怒る人もあろう。そしてまたは、ではお前のいう絵画とはどんなものか、と反問するかもしれない。または、お前には新しい時代の絵画は判らないのだ、というかもしれない。

私はそれらに対しては「絵画というものはあてこみやはつたりに變身をやつす所からは生れない」と答えておいて、こゝでいわゆる画壇というものの事情を御存知ない方のために簡単に書く。

二科会が発生した当時は、画家の数も少なく、わり合いに純粋な態度で（さきに書いたような過程を持つ）展覧会が開かれたのだが、その後次第に画が商品化され、賣れるために展覧会に名を出さなければならなくなり、展覧会への入落が死活の問題になるにしたがつて、入落をめぐつての情実、勢力争い。ボスができ、閥が出來た、知らない方はほんとうと思はないかもしれぬが、二科会から新立展、一水会、二紀会、行動美術などが派生して來たのは、その證據なのである。

こういう内情は、日展や日本画壇の方はなお以上にはなはだしい。

入選したいなら、眞面目に画を勉強するよりボスにぶらさがる努力をした方が早い、ということは、常識になつている。私はけつして面白半分にこんな暴論をやつているのではない。こんな画壇の内情などは、絶滅して「展覧会は絵画を観る所」といい切れるものにしなくてはならない。終戦後、そういう情実の中にある画家の中からさえ、反省する人達が出て來ている。

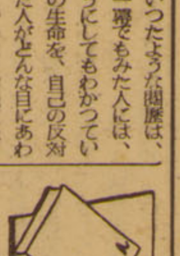
情実が生じ、ボスや閥が生ずる原因の最大なるものは審査制である。この審査というものがだいたいけしからぬものであることは、初めに述べたように絵画を操作する精心に反したものなので、営々苦心の作を少数のものが短時間にながめて、その画の入落を決めるなどは言語同断のことである。

アンデパンダン展の意義はとこにある。

もう一言いいたいのは、展覧会は絵画を観る所であるべきだが、絵画は展覧会だけで観るものではない。絵画に、方法はいろいろあるが、度々観る、即ち文字通り観賞されなければならない。そして生活から離れたものではなく、人間の感情にしみ込み、人間生活の発展と向上に役立たせなくてはならない。

これは抽象的な理想か。否。「展覧会制作」などというものを無くすることから、この一歩は始まるものである。

一九四九九、一六（日本美術会々員）

書評


苦難の豫言者ドストエフスキーその他
菅円吉

英國國教の聖公会のキヤノン・ベーカーの書いた論文集「苦難の豫言者」（原名審判の日を叫ぶ豫言者）の邦訳を読んだ。残念ながら私は原著を持つていないので松本君の邦訳を読んだ。本書はキヤノハン・ベーカーが書いた論文を集めたもので、その最初がドストエフスキーのことを書き、次にエレミヤという風にいろいろの苦難の豫言者について書いたものである。神学的にいうよりも文学的で、各編面白く書かれている。もつとも大齋期間に読むべき修養書として推薦されたものである。翻訳は原著を見ていないので何とも言えないが大變楽に読める。聖公会の牧師達の書いたものには、ともすれば現代感覚をはずれたものが多いが、本書はその欠点を補つて餘りある。現代人の氣持に食い込んでくるように、現代の宗教斗争が文学的な筆で描かれている。特にキリスト教信者の方々に読んでもらいたいと思う。（本学教授）

春光社一八〇円

生き残つた青年達の記録

東大唯物論研究会と学生書房編集部が「戦後體験」した青年達の記録百八十四篇の中から八篇を掲載したものであるが、いづれも暴虐なる戦争に対して如何なる心の群像を示しておるかを端的に表わしてくれた良書。

敗戦…インフレ…靜かなる恐慌下にあえぐ青年達の記録こそ明日の新しい民主日本の礎石であろう。付録の座談会は本書を理解する一指針である。（英）

学生書房一三〇円

ルポルタージュ
地下一千尺の労働者
—北海道某炭坑より—

戦争中の 濫掘のために炭鉱の坑内はいまだに荒廃したまゝになっている ときいている炭管法が廃止されて自立體制が確立されるようになれば労働條件がさらに低下するとは疑いのないことであろう去る六月、炭鉱國家管理調査のため渡道して、実際にみてこられた筆者に某大手筋炭鉱の坑内の実情をきいてみよう

抗口を入り薄暗い安全とうのともつている詰所までくると、内径三メートル、深さ一、三〇〇尺の竪坑の入口がポッカリと足許に真黒な口をあけている。この一本の井筒の底には延層坑道が網の目のように左右にのびており、数千人の坑内夫が働いている。彼らにとつては、入氣と排氣とをかねたこの一本の井筒が生命の綱である。

数人の坑内夫たちと肩を重ね合せるようにしてエレベーターにのつた。天井と床を四本の鐵柱で支えてあり、一本のクサリが周囲をとりまいている。降下の合図のベルがなると、抗外にある動力室からの操作で一、三〇〇尺の地下へ立つたまま吸いこまれた。

キャップ・ライトの淡い灯に浮びでる坑木はじつとりと濕つぽく、不氣味なカビやキノコが一面に生えている。ずつしりとのしかかる岩盤の重みを支えきれず、すでに折れさがつているところもある。腰に携帯でつるつてある蓄電池は二日間の壽命である。もしもこんなところでキャップ・ライトの灯が消えようでもしたら一寸先もみえない暗黒のヤミの中にのみこまれてしまう。

ゴーッと八両連結のトロリー電車がとおりすぎる。坑木と坑木の間に體をへばりつかせて炭車をやりすごしてから、ふたたび案内者のあとについて、枕木の上を一歩一歩ふみしめてゆく。頭の上にはすれすれに五〇〇ボルトの電流の通つた架線が暗ヤミの中につゞいている。「戦争中はよく鮮人抗夫が感電して死にましたよ」と、案内者がつぶやいた。この危険な坑道を、坑内夫たちは朝な朝なトボトボと青白い體を切羽まで運び、夕ぐれには真黒に染め上つた體を外坑へはこびだしている。

「基準法ができてからは抗口拘束八時間になつたので、往復の徒歩時間を除いて実働六時間位ですよ」と案内者はいうが、徒歩で二時間かゝる坑道に人車をつければ、落盤や炭車や感電による危険も少くなるし、往復時間は三十分位に短縮できるともいつた。戦後、炭鉱夫の生産意欲が喪失したといわれているが、抗道に人車をつけて能率を向上したいという要求は、炭鉱夫自身の口からでゝいることであつた

切羽はこの坑部のどんづまりにポッカリとなまなましい炭層をのぞかせている。拂面長一〇〇メートル、拂高二メートルのこの切羽には採炭夫四四人、充塡夫二〇人、仕繰夫五人、ベルト運搬夫三人積込夫四人、材料運搬夫六人、合計八二人の坑内夫たちが、額から臍にかけてドス黒い汗を流して作業している一體に彫りの深い坑内夫の顔だちはキャップ・ライトの燈に照らしだされて幾分せいさうでさえある。

溫度二〇度、濕度一〇〇パーセント、ガス量〇・二パーセント。こゝではとくに炭塵が多い蒸氣でちんでんさせているがまだ完全な吸塵設備がない。ガスと炭塵は絶えず爆発の危険をはらんでいる。

昭和十九年五月には、この抗内でも自然発火による大爆発のために百数十名の犠牲者をだした。もつとも戦争末期のことと て事件はそのまま隠ぺいされていた。

狭い坑路にはチエン・コンベヤーがにぶい音をたてゝ流れている。コール・カッターで炭層に溝をいれ、コール・ドリルで穴をあけ、爆薬でゆるませた炭壁を先山がコール・ピックで掘りくずし、後山がスコップでチエン・コンベヤーの樋の中に投げ入れる。V字型断面の鐵樋の底にはチエンが走つていて、樋の中に投げ入れられた黒ダイヤのなまなましい塊りは樋の中を坑内のポケットから炭車で抗口まで運ばれ、こゝからゲージまき上機で坑外に運びだされ、選炭場へ送られる。

大手筋炭鉱の特徴として、運搬設備が機械化され運搬速度が高められているのに、採炭技術の機械化がそれにともなわないため、採炭夫の作業が労働強化になつている。この欠陥を除くためには採炭技術の向上を計らねばならない。すでに、フェイス・ローダーの採用による積込作業の機械化が計画されているようであるが、自然的條件が適していないという理由で、見送り資金をあてにしてその採用を躊つている。さらに、火藥を使用するかわりに、カー・ドックスやエヤー・ドックスが使用されるようになれば、自然発火の危険もなく採掘作業が細分して能率も向上するのであるが、現在ではテスト・マインの程度に止まつている。

在坑二時間で坑外に出た。チツプラーから流れおちる黒ダイヤの音が辺りの緑なす山々にザザザーという音をたててこだまする。炭車をおす抗外夫の肌着はしつとりとぬれて、いつしか初夏の訪れを傳えてくれる。遠く未知の山々には樹々の緑がみえだした。しかし明るい初夏の日差しも坑内にはとどかない。煙草に火をつけてから、お互いに顔を見合せたが、だれも口をきくものはなく、一行はもくもくとして宿舎への山道を下つた。（加藤誠一、本学経済学部助手）

六大学写眞展

そう秋を飾る第四回東京六大学写眞展は来る九月廿七日から十月二日まで銀座三越にて開催される、各校、休暇中の労作を発表するものとみられ、その成果は期待される

映画紹介
忘れられた子等

昨年ベストテン第一位を獲得した「手をつなぐ子等」の稲垣浩が再びカメラを小学校の教室に向け、前作より更に至難である意志薄弱児の群を描かんとする原作は「手をつなぐ子等」の田村一二で、社会から見捨てられた子供らと彼らの埋もれた特性を見出し、ひたすら情熱で教え育くむ一青年教師によつてかもし出された物語

出演者は新東宝の堀雄二「手をつなぐ子等」で演技賞をとつた笠智衆、大阪NHK 子供の時間の泉田行夫、岩田直二、そして少年たちには「手をつなぐ子等」の人たちが出演する、撮影は「きられの仙太」につぐ安本淳音樂は西梧郎

貴男の人格は
當店によつて倍加されます
立大御用
小林洋服店
毎日校出出張

新刊・書籍・雑誌
教科書・參考書各種
濱田屋書店
池袋交番通り
注文品は迅速に御取りよせ致します

皆様始めてお目にかゝります
櫻井洋服店
今後よろしくお願い致します
立大通用門側

秋のスタイルは
評判のよい
大野洋服店
池袋西口スト内

書籍は皆様の
大地屋へ
立教通り

高級紳士服
立教学院御用
恩田洋服店
池袋西口トキワ通角

立大御用
任田帽子店
池袋立教通り

技術と材料
カメラの店
パール堂
池袋西口バス通り

新學期の學用品は
紙と文房具専門
芳文堂へ
池袋立教通り

大學高專服
各種取揃え
ソノベ洋服店
池袋立教通り

求めて得られざるなし…
万年筆とボールペンの専門店
パイロット・プラチナ
エリオツト・シグマ・ローレル 各特約店
金光堂萬年筆店
（全部三年以上修理保險付）
立教大学通り

味自慢
風味の今川焼
藤屋
池袋西口立教通り

スタイルは飯田から
大学高專服受注店
飯田洋服店
池袋立教通り

待望のアメリカ映画
シーズン來る！
上映中 十字軍
10月4日～10日 フランケンシュタインの幽靈
10月11日～17日 ドーヴアーの白い崖
10月18日～31日 子鹿物語
日活直営
新宿 帝都座　池袋 エデン劇場

優秀映画を最低料金で
9月27日—10月3日 かりそめの幸福
10月4日—10月10日 幻想交響樂
10月11日—10日17日 バレエ映画 眠れる美女
10月18日—10月24日 惡魔が夜來る
10月25日—10月31日 どん底
新宿 帝都名畫座

20日—3日 黄金 問題のロードショウ映画！
4日—10日 樂聖ショパン 総天然色映画（一週限り）
20日—3日 モホークの太鼓 最後の一人まで死斗する守備隊！
4日—17日 ターザンの怒り ジャングルのターザン最後の活躍！
（池袋西口）
池袋ロサ ☆ 池袋邦映

魅力！ 100%
新宿名物 セントラルショウ 第5回 公演
1.笑劇ファース 完全なる結婚 1幕 作、演出、加納浩
2.名画アルバム 動く二科展10K 交錯する肉体 構成・東郷青児
3.ショウ 3部作 20K パシオン・ドオトンヌ 振付 三橋蓮子
A 赤い海
B 秋の情熱
C 悪の華
セントラル 好評上演中

東宝映画十月上映番組
4日ヨリ 本年度ベスト・ワンを狙ふ秀作 忘れられた子等 稲垣浩監督 堀雄二主演
11日ヨリ 黒沢明演出 三船敏郎主演 野良犬（七つの弾丸） 酔どれ天使・靜かなる斗決をしのぐ
18日ヨリ 柳家金語楼 花菱アチヤコ 主演 あきれた娘達
池袋東口
東洋映畫劇場
電話大塚（86）2728

戦後最大の冒險活劇映画堂々封切
快傑ハヤブサ
怪人ハヤブサヒデトが縦横に活躍するスリルと興奮の新作連續大活劇
第一週27日—10月3日
第一篇 大跳躍篇
第二篇 鐵壁突破篇
第二週 10月4日—10日
第三篇 海上猛斗篇
第四篇 解決篇
一挙上映
新東地下劇場

欧州映画祭
九月廿七日～十月三日
恐るべき親達
パリで上演禁止全フランスが賛否の二つに別れた問題のコクトオー映画
ジヤン・コクトオ 監督
ジヤン・マレー ジヨゼツト・デエ 主演
十月四日～十月十日
北ホテル
水色のたそがれ・パリジヤンの哀歓そして巴里祭
マルセル・カルネ 監督
アンナ・ベラ ジヤン・ピエール・オーモン主演
池袋 エトアール 西口